

大学院美術研究科 博士後期課程 美術専攻

養成人材およびカリキュラム編成の方針

大学院美術研究科博士後期課程美術専攻では、美術分野におけるより一層高度な専門性かつ独創性をもつ研究や作品制作を行う人材を養成するため、指導教員及び関連指導教員のもと、所属する研究領域をこえて知識・理論・技法等を学ぶことができるカリキュラム編成となっている。

指導教員は自身が所属する研究領域における研究実践や演習に基づき、美術分野における今日的な諸問題や研究課題を考察・提示し、実習・レクチャー・ディスカッション・ワークショップなどを通じて、個々の研究および相互の知的交流の活性化を図る。学生は自らの研究主題に関する研究・制作・発表等を行いながら、専攻内の他領域の教員や他の学生との積極的な意見交換等を通じて自身がすすめる研究の新規性・有用性・信頼性を高め、高度な学術性と格調を備えた博士学位にふさわしい研究・作品制作・論文執筆を行い、この他に必要な場合は国内外の展覧会への作品出展や査読付き論文発表も行う。また、自身の研究領域を超えて他の領域について学ぶための科目も設置し、美術分野に関する幅広い知識と視野を養い、美術分野にとどまらず社会で幅広く活躍できる人材を育成する。

また、博士論文に研究作品を併せて博士学位取得を行う学生に対しては、必要となる論文作成技術などの基礎的事項を学ぶための博士論文制作プログラムも用意して学生支援体制を整えるほか、最終的な学位申請においては、博士展を開催して、公開発表の場も準備する。

求める入学者像

美術分野におけるより一層高度な専門性かつ独創性をもつ制作や研究等を達成し、社会にその成果を還元し、国際的に活躍することができる人材を求める。選抜試験においては、修士課程等で習得した能力を審査するために、提出作品または論文・小論文・語学能力審査・口述試問等を行い、その結果を総合的に判断して選抜を行う。

卒業認定・学位授与の方針

研究領域毎に定められた教育課程表に記載された所定の単位を修得し、最終年次に行われる博士学位審査会において、博士学位論文や研究作品の公開審査に合格し、かつ最終試験に合格した学生を博士学位取得者と認め、「博士（美術）」または「博士（学術）」の学位を授与する。

カリキュラム構成

【1年次】

- ・自身の持つ美術分野における基礎的素養の確認
- ・美術分野における研究計画の策定
- ・研究計画に関連した研究や作品制作
- ・論文制作の基礎技術習得 など

【2年次】

- ・研究計画に関連した研究や作品制作
- ・国内外の展覧会への作品出展
- ・査読付き論文の発表 など

【3年次以降】

- ・博士学位審査に向けた研究の継続および論文執筆
- ・研究計画に関連した研究や作品制作
- ・国内外の展覧会への作品出展
- ・査読付き論文の発表 など

教育目標

- ①美術分野におけるより高度な知識の習得
- ②美術分野におけるより高度な技術の習得
- ③美術分野における新規性のある研究課題に関する研究や作品制作
- ④美術分野における研究成果の発表